

市川ハイムが完成しました。



南東側外観



バルコニー側外観

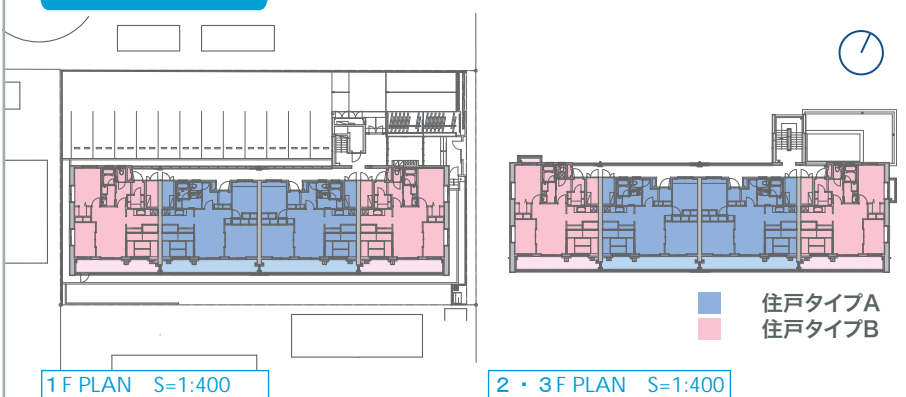


住戸エントランス

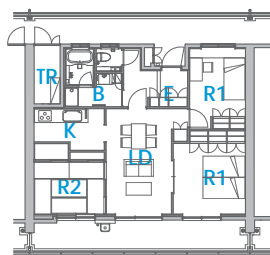


東側外観

PLAN



ELEVATION



- E. 玄関
- LD. リビングダイニング
- R1. 洋室
- R2. 和室
- K. キッチン
- B. 洗面所
- TR. トランクルーム

A-TYPE PLAN S=1:200



リビングダイニング

CONCEPT

「居住性と快適性を確保し、かつ、良質な社会ストックとしての資産価値をもつ社宅」

各住戸とも良好な日照と通風を確保、戸数の半分は角住戸による3面採光、2面採光となる住戸は1住戸あたりの間口を大きくし、太陽光を最大限取り込み健康的で快適な居住環境を確保しています。転勤者に対する配慮として、各戸用外部物置、各室には収納スペースを十分に確保しつつ、リビングインにより廊下床面積を減らし、また共用廊下等を少なくすることで狭い敷地面積を最大限に有効活用しています。

二重床(H=250)のスケルトンインフィルを採用し、ライフスタイルの変化にも対応できる資産価値を合せもつ住宅を提案しています。

住戸プランは、リビングを中心に各個室を配置し、続き間を利用したフレキシビリティに富んだ間取りは、転勤者のさまざまな家族構成に柔軟に対応できます。

DATA

| | |
|--------|--|
| 敷地面積： | 1,091.91㎡ |
| 建築面積： | 527.06㎡ |
| 延床面積： | 1,179.58㎡ |
| 建ぺい率： | 48.27% (許容50%) |
| 容積率： | 94.76% (許容100%) |
| 構造・規模： | RC造 (X方向ラーメン構造、 Y方向壁式構造) 地下3階、杭基礎 |
| 最高高さ： | 9.985m |
| 軒高： | 9.510m |
| 階高： | 3.210m |
| 天井高さ： | 2.40m |
| 主なスパン： | 9.3m×8.2m 10.5m×8.2m |
| 設計期間： | 2005.07～2007.03 |
| 工事期間： | 2007.03～2008.03 |

TOPICS

自由な間取りを可能にするスパン設定と構造形式。

Aタイプ(間口寸法10.5m奥行き寸法8.2m)、Bタイプ(間口寸法9.3m奥行き寸法9.7m)の2タイプで構成された各住戸は、間口方向をラーメン構造、奥行き方向を壁式構造とし、住戸内には一切柱型、梁型、構造壁の存在しないロングスパンの構造形式を採用しています。構造躯体にとらわれない自由な間取りは、各住戸3室南向きを可能にし、将来のリニューアルにも対応したフレキシブル性も兼ね備え、スケルトンインフィルを実現した住宅となっています。

▶ <http://www.nissoken.co.jp>